

(5) 平成16年度の府立高等学校(全日制)における
不登校生徒の不登校状態が継続している理由

理由	具体例	人数(人)	比率(%)
学校生活上の影響	いやがらせをする生徒の存在や、教師との人間関係等、明らかにそれと理解できる学校生活上の影響から登校しない(できない)。	112	3.1%
あそび・非行	遊ぶためや非行グループに入ったりして登校しない。	465	12.8%
無気力	無気力でなんとなく登校しない。登校しないことへの罪悪感が少なく、迎えに行ったり強く催促すると登校するが長続きしない。	1,060	29.1%
不安などの情緒的混乱	登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しない等、不安を中心とした情緒的な混乱によって登校しない(できない)。	506	13.9%
意図的な拒否	学校に行く意志を認めず、自分の好きな方向を選んで登校しない。	469	12.9%
複合	不登校状態が継続している理由が複合していていずれが主であるかを決めがたい。	655	18.0%
その他	上記のいずれにも該当しない。	371	10.2%
計		3,638	100.0%

注:理由の分類は、学校等の客観的な判定(診断)を参考にし、現在又は不登校の状態であった期間の内もっとも現在に近い状態によって学校が行ったものである。